



小説『ハゲタカ』から20年、小説家・真山仁氏に聞く「M&Aは日本をどう変えたか？」



敵対的買収を世に知らしめた小説『ハゲタカ』シリーズが発刊されて20年が経った。シリーズ第1作が世に出た当時には文字通り「ハゲタカの所業」として日本社会から反発を受けた企業買収だが、現在では受け止め方も変わっている。そこで『ハゲタカ』シリーズの著者で、小説家として経済の動向を見つめてきた真山仁氏に、M&Aが日本をどう変えたかを聞いた。

*インタビュー全文は2025年1月30日発売の『M&A年鑑2025』に掲載されます。

『ダイヤモンドMOOK M&A年鑑2025』を100名様にプレゼント

発売にあたり、2025年2月28日までにご応募いただいた方を対象に抽選で100名様に『ダイヤモンドMOOK

M&A年鑑2025』をプレゼント。下記のバナーをクリックすると応募できます。SNSキャンペーンからも応募可能ですので、ぜひ皆様、ご参加ください！